

報道関係各位

2026年6月12日

防災ヘリコプターによる実践的な訓練を実施 アクティオ「千曲市官民連携防災訓練」を共同開催

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、2026年5月15日(金)に、アクティオ長野ちくまテクノパーク統括工場を会場とした、千曲市主催の「令和8年度 千曲市官民連携防災訓練」を共同開催いたしました。本訓練では、マグニチュード7.7、震度6強の大地震発生を想定し、工場敷地内のヘリポートにて長野県消防防災航空隊の防災ヘリコプターを活用した空地連携による物資輸送訓練および要救助者救出訓練を実施しました。



【防災訓練の様子】

近年、全国各地で大規模地震や豪雨災害が頻発しており、災害時における自治体や関係各所との迅速で円滑な連携体制の構築が、ますます重要になっています。アクティオは、2026年3月に千曲市と「災害時における応急対策業務及び施設提供に関する協定」を締結しており、関係機関との連携を強化しています。今回の千曲市との連携を通じて、実効性の高い防災体制づくりを推進していきます。

当日の物資輸送訓練では、避難所物資として、避難所用パーテーション、段ボールベッド、折りたたみ式簡易ベッドを防災ヘリコプターへ積み込み、受け渡しを行いました。また、ホイスト※1を使用した医療物資の受け渡し訓練も実施しました。さらに、大規模災害時に取り残された要救助者を想定した救出訓練も実施し、関係機関相互の連携手順や対応順序の確認を行いました。

アクティオは「レンタルティンギ」のノウハウを活かし、地域防災力の向上や地域社会に貢献していきます。

※1 要救助者や隊員を吊り上げ又は吊り下げる装置

■当日の様子



■「千曲市官民連携防災訓練」概要

名称	令和8年度 千曲市官民連携防災訓練
目的	災害協定に基づき、関係機関相互の連携を強化し、長野県消防防災航空隊との空地連携や必要な地上支援に関する知識、技術の習得をすることにより、円滑かつ効率的な災害対応及び消防活動の実施体制を確立することを目的とする。
実施日	2026年5月15日(金)
実施場所	アクティオ 長野ちくまテクノパーク統括工場
主催	千曲市
参加機関	アクティオ、長野県消防防災航空隊、千曲警察署、千曲坂城消防本部、千曲市消防団
訓練内容	<ol style="list-style-type: none"> 物資輸送訓練 <ul style="list-style-type: none"> 避難所物資(避難所用パーテーション、段ボールベッド、折りたたみ式簡易ベッド)の積み込み 避難所物資(避難所用パーテーション、段ボールベッド、折りたたみ式簡易ベッド)の受け渡し ホイストを使用した医療物資の受け渡し 要救助者救出訓練

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営 2014年 幻冬舎）。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使

うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、吉田

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp